

洋書輸入協会会報

VOL. 11

NO. 1

(通巻 117 号) 昭和 52 年 1 月

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

昭和 52 年 元旦

理事長 飯泉 升 吾



昨年は、洋書業界にとってまことに多事多難な年でありました。景気回復の曙光の中で明け、前半輸出は好調に推移したものの、国内では個人消費が期待通りの伸長を見せず、後半景気は中だるみ、或は停滞の様相を呈し、各社共苦渋に充ちた一年であったと思います。加えて、公正取引委員会の価格協定に関する審査・勧告と、それに対する需要者の反応は、各社の洋書価格政策の上で大きな試練に遭遇する事態となりました。

その中であって、5月に京都で開催されたIPA大会は、我が国出版・情報産業界にとって誠に記念すべき行事としてその成果が高く評価されました。大会においては、情報量の増大に対応する媒体の多様化と出版事業のあり方・将来性、複写問題を含む著作権問題、出版物の市場・流

通問題など、いずれも洋書業界と深くかかわる諸問題が討議されたわけですが、折しも、科学技術分野を中心に情報媒体やシステムが急速に変質しつつあり、洋書業界も新しい市場構造に見合った体質の創造がせまられ、今、胎動期を迎えているものと考えております。

相次ぐ公共料金の値上げ、EC攻勢、ポンド・リラを始めとする欧州通貨の不安等、種々の悪条件のもとに、本年の経済環境は昨年を上まわる厳しさが予想されます。その中で、引き続き価格問題や情報問題等複雑な市場要件をかかえて、それらの問題との真剣な取組みを通じて業界の発展を図り、ひいては日本の学術・文化の発展に寄与すべく最善を尽す考えでおります。会員皆様の一致協力をお願いして、簡単ながら新年のご挨拶と致します。

理事長新年挨拶	1
転機に想う(鈴木常夫氏)	2
理事会報告	3
第20回IPA大会における 14勧告案(1)	3

新入会員のお知らせ	4
電話番号変更のお知らせ	4
外国出版社の紹介 No. 48 (Macmillan Publishers Ltd., London)	5
通関統計	6

来日外人名簿	6
総代理店ご案内	6
会員の横顔(長戸亮介氏)	6
「会報委」雪の金精峠をゆく	7
広告(医学書院)	8

「転機に想う」



三洋出版貿易株式会社

取締役社長 鈴木 常 夫

戦後30年、当業界も、幾多の迂余曲折は別として、日本経済の成長発展に伴って、高度成長の恩恵に浴して来ました。30年をジェネレーションと言います。世代の区切です。特に昨年は、大きな世界的事件など、様変りの節目の年でした。

アメリカ独立200年、共和党フォード政権より民主党カーター大統領の選出へ。中国に於ける周恩来の他界、巨星毛沢東の逝去、華国峰への国家主席の継承、政変陰謀の発覚に依る四人組の追放、異変を象徴する如き相次ぐ中国の大地震。

我が国に於ても、天皇在位50年、ロッキード事件に関連する前首相の逮捕、ロッキード選挙と呼ばれた総選挙に表明された保革伯仲の民意、三木退陣により福田新体制の誕生等々。ミグ25亡命事件、領海200カイリ宣言、漁業規制の52年よりの実施、ECの対日貿易の輸入規制、追撃のOPECの原油の5—10%値上げの決定。また、米作も5年振りの不作。不景気の浸透は益々深く、倒産件数並びに規模も史上最高記録。

われわれ洋書輸入業者にとっては、2月13日の金曜日は正に魔の金曜日でありました。独占禁止法違反容疑によって、公正取引委員会から、立入検査を受けた業界初の試練の日となりました。新聞は一斉に、われわれ洋書輸入各社はヤミカルテルによって暴利を貪っていると報じました。一部野次馬が、300円の実勢レートと販売価格370円の差額として、1ドル70円を何時返金するのかと処々に電話をしてきた由、無責任な手合いは別として、各社の顧客の中でも新聞報道に刺激されて、レート問題に厳しい追及を迫る人達が出て来た事は見逃せぬ大事な事態です。即ち、11月20日付、毎日、日経両紙に広告を発表して一応の決着をつけた訳ですが、公取問題は、今後の経営に重要な影響を残すこととなりました。

新しい年を迎えるに当たって、われわれは新しい転機に起っている事の認識を十分に持たねばなりません。

新年毎に「お互い激烈な競争を節度あるものとし、……格調の高い業界を形成していきたい」(44)、「エアー・カーゴ。コンピューターの共同利用など情報化時代にふさわ

しいリーダーシップを洋書輸入協会がとれる実力を備えたい」(45)「大企業による情報センターなど業界へ進出を意図している。協業化として共同仕入、エアー・カーゴ。コンピューターの応用等新しく手がけて力強い協会として飛躍のステップとしたい。」(46)「不当競争は避け、共存共栄の協会目標の堅持のため自粛したい。」(47)「相互理解と協調の下に、争いのない発展的な年でありたい。」(48)「1ドル、360円を3両60円としては如何。即ち、銭厘など生れてから聞いた事もない貨幣呼称単位などパーセントにすべし」の新春放談。(49) 洋書輸入業者とは何か。量的拡大を追及してきた業界の体質の状態の認識、顧客と業界との関係の客観的認識、マーケットの問題に対しての従来の態度の問題、等四項目についての提起。

以上は協会理事諸氏の夫々の年頭の御挨拶の一部を再現させて戴きました。

本当に全く、その通りです。駄足として

1. 国内書籍雑誌の販売価格が全国一定であるのに、外国書は一定であっては不可なのか。一定のさせ方が悪いのか。
1. 販売価格は誰が、何を根拠として決定するのか。
1. 販売価格のみ値引くことを唯一のサービスと考える安易なやり方で良いのか。
1. 総代理店になったからとて、従来オープンで各社が夫々既実績ある場合に於て、如何に扱うか。権利をどのように行使すべきか。義務を如何に果すのか。
1. 各社の規模・業態・構成によって異なるも、標準として、洋書輸入業としての採算ベースの経営的分析。
1. 単に従来の慣行であると押し流されている悪習の是正、官庁学校への納入に請求日附を記入しない。口頭だけによる注文の受理、簡単に、一方的キャンセルを甘受等々。

思いつくまま例示的に数例を挙げましたが、要は、“理想は高く実行は低く”この'77年の転機に際して、具体的な問題にとり組んで、次のジェネレーションへの第一歩を踏み出したい。

理 事 会 報 告

11月26日（金）

(一) 公正取引委員会関係（事務局）

11月20日付で新聞広告の掲載、特定需要者及びJBI A全会員に対する通知文の発送を終了した。

そのための会計措置は、特別会計を取り崩した上で11月中に終了する。

公正取引委員会への「審決に基づく処理報告」は一切の書類を取り揃えた上で12月上旬のうちにを行う。

(二) 正会員入会申込みの審議（事務局）

研友社 文京区目白台 3-26-8

代表者 高尾精治

推薦者 北沢書店、UPS

……審議の結果承認。

(三) American Booksellers Association よりの年次会議

の案内到着（洋販・栗原氏）

場所 サンフランシスコ

日時 1977、5月28日～31日

意義のある会合であるから、参加をすすめたい。

(四) 通関委員会報告

11月24日に開催された第57回東京外郵通関協議会幹事会の議事について報告。

・11月1日付にて羽田より東京外郵へ12名の係官が引越し、到着通知書発給分についての便宜が供与出来ることになった。

・郵便による通関利用者の実態アンケートを実施するので協力願いたい。

・その他

12月10日（金）

(一) 10月分および11月分収支計算・予算対比表の検討。

(二) 公正取引委員会の件。

審決にもとづくいっさいの処置をおえたので、12月8日付けで「審決に基づく措置について（報告）」を提出。これでこの一件は終了した。

(三) 東京外郵税関からわたされた「未加盟業者一覧表」を検討。事後通関制の円滑な実施に協力するという立場から、協会への入会資格のある輸入業者には入会を勧誘することとなった。

第20回 IPA大会における14勧告案

(一)

最終全体会議での14の勧告案、さらに間に合わず後で整理された2つの勧告案（出版物の国際標準コード化の促進、紙パルプ高騰の調査）は、来る9月18日にフランクフルトで開かれるIPA国際委員会が採否が決定されることになっている。

セッション A—II 勧告案

京都で開催されたIPA第20回大会は、IPAの諸目的を達成するために、開発途上国における民間出版業の継続的發展を確保することの重要性を考慮し、

研修施設の提供、民間出版業者間の協力体制の強化などを通じて、民間出版業の育成を図るため、まずアジア地域に「財団」を設立する可能性と実現性の検討を決議する。

かかる財団が設立されれば、民間出版業者は、出版業の国内的・国際的發展において、より効果的にその役割を果

すことができるであろう。

セッション B—I 勧告案

IPAは1976年5月25日から6月1日まで京都で第20回大会を開催し、図書を自由価格にすべきか固定価格にすべきかという問題の重要性を考慮し、

国によって相当事情が異なること、また小売価格制度に関する均質的かつ信頼できる有効なデータの収集が困難である点を認識し、

IPA事務局が、各国における出版社の売上高の実態ならびに流通構造に関する均質的な統計資料の収集活動を組織するよう勧告する。

セッション C—I 勧告案

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたIPA第20回大会は、開発途上国における民間出版業を

強化する切実な必要性を考慮し、

現地民間出版業の健全な発展を期するため、I P A加盟諸国が開発途上国の民間出版業を公共出版に優先して助成するよう勧告する。

セッション C—II 勧告案

1976年5月25日から6月1日まで京都で開催されたI P A第20回大会は、

写真複製を放置しておけば、図書、雑誌、音楽出版物などの一次出版の基盤、さらに情報の自由交流を浸蝕し破壊する恐れがあることを認識し、また、

著作者の知的所有物を使用するには、しかるべき対価を支払うという原則が尊重されるべきであることを認識し、さらに、

複写複製の規制は、現行の著作権法に基づくべきものであり、私的利用、自由利用および公正利用のこれまでの概念は再考されるべきものであることを認識し、

教育や演奏用音楽著作物の複写複製権の譲渡は、世界のいずれの地域においても、出版業の大きなかつ重要な部門を崩壊に導く恐れがあることを認識し、

I P Aが、ただちに行動委員会を設置し、

一国内および国際間で知的所有物について十分周知せしめ、かつ保護されるよう実効を伴った行動を要請していくよう、I P A執行部に対し勧告する。

セッション D—I 勧告案

I P Aは1976年5月25日から6月1日まで京都において第20回大会を開催し、

世界における文化の伝達者としての出版者の役割の重要性を認識し、

開発途上諸国における出版者が、自国民に対して良質かつ低廉な図書を供給する上での当面する特殊な困難を認識し、さらに、

先進国と開発途上国間の共同編集および共同出版事業が実際的でない点を考慮し、

先進国の出版業者は、開発途上国の出版者に対し、翻訳権を低廉な著作権使用料（たとえば初版の場合は4%、それ以降の場合は7%ないし8%）で供与するよう要請する。

セッション D—II 勧告案（1号）

以下のことを勧告する——

自国における新媒体の実態に関する過去一年のデータを毎年I P A事務局に提出するようI P A加盟各協会に対し要請する。関係諸団体（S T Mなどの関連団体を含む）の代表者は、1977年のフランクフルト国際書籍展開催時に開かれる年次会合で、この調査について討議を行う。I P Aが作成する第1回の調査報告書には1976年の資料を収録することになる。

セッション D—II 勧告案（2号）

1976年5月25日から6月1日まで京都において開催されたI P A第20回大会は、すべての国の政府、ならびに新たな情報伝達技術の研究に従事する国内・国際機関により、各国において文化・政治・商業面で露呈されている幾多の問題の正確な認識がなされることを強く要請する。その認識に立脚して、新設のあらゆる情報伝達システム（例えば海底ケーブル）をすべての情報伝達者に開放すること、そして、これまで情報の一括・多量配布の役割を果たしてきた出版人に対し、政府および研究機関は、新たなマス・メディアの開発の具体化を目的としたすべての審議会や討論会に、その企画段階から参画できるよう配慮されることを、ここに要請する。

新入会員のお知らせ

今回下記のかたが会員として入会されましたので、お手許の会員名簿にご記入願います。

正会員

研友社 代表者 高尾精治氏
〒112 文京区目白台3-26-8
☎ (03) 943—0178

賛助会員

パーガモン・プレス東京支社
極東代表 リチャード・ヨーカム氏
〒187 小平市花小金井南町1-890
☎ 0423—81—5748

電話番号変更のお知らせ

今般次の通知がありましたのでお手許の会員名簿の訂正をお願い致します。

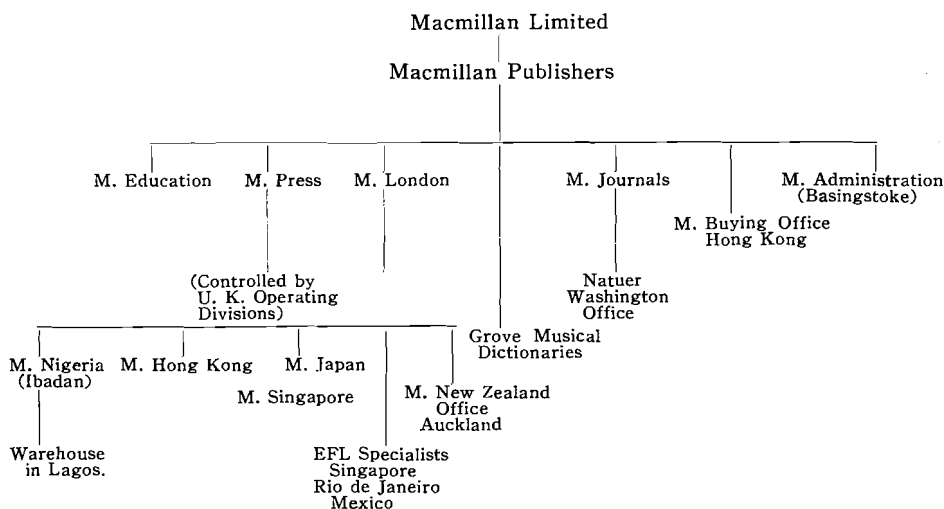
マグロー・ヒル・インターナショナル東京支局
新番号 ☎ (03) 542—8821

Macmillan Publishers Ltd., London

マクミラン・グループの親会社 Macmillan Ltd. の現社長 Harold Macmillan 氏が英国の前首相と同一人物である事は既にご存知の方も多かろう。英国の大手出版社マクミランの歴史は、1843年に Daniel と Alexander の二兄弟がケンブリッジの大学都市に出版社を設立した事から始まり大 Family Firm として今日に至っている。1863年には、より理想的な出版センターを目指し事務所

をロンドンの St. Martin's Street にある Victorian Building に移転、更に 1964—1965 年にかけて Little Essex Street にある近代的な建物に移転、Basingstoke に新しい倉庫を設けると同時に出版部門のいくつかも移転するなど着実な歩みを記している。

現在のマクミラン、グループの機構は1970年の再編成されたもので下図の通りである。



尚、各部門別に見ると Macmillan London は Novels を含む General Books を出版しており、同規模の Macmillan Press Ltd. は Reference Books, Higher and Further Education, Higher level Scientific and Technical Books, Arts and Social Sciences の出版を担当し、年間約 100 タイトルの新刊を出版しており、なかでも歴史、経済、政治関係書に特色がある。Macmillan Education Ltd. は School 向けの教材に力を入れているが、数年前から Macmillan EFL タイトル拡販の為の特別のセクションを設け、アジア地域の EFL Materials 販売拡張を計っている。Macmillan Journals Ltd. は国際的な科学誌 "Nature" など多くの雑誌を刊行、

Macmillan Administration Ltd. はサービス、会計 Computer, 発送面に主力を注いでいる。

L. Tennyson, L. Carrol, T. Hardy, H. James, R. Kipling, Walpole, H. G. Wells, W. B. Yeats, 或は経済学者 J. M. Keynes, フランスの哲学者 H. Bergson, S. O'Casey, Sir Winston Churchill 等の著名な作品を数多く世に出し、堅実に発展を成し遂げているマクミラン・グループの著じるしい近代化については「The Bookseller」の 1975 年 3 月 8 日号の記事 "Macmillan: Winds of Change" の中でも讃辞を送っている。

(S.N.)

通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）
1976年9月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和51年9月 \$ 7,498,000 1月以降累計 \$69,606,000

昭和50年9月 \$ 8,030,000 " \$74,139,000

（註）この統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

来 日 外 人 名 簿

11月中旬 Mr. William Miller, Editorial & Sales Director, Quartet Books

11月下旬 Mr. D. Traynor, Manager, Feffer & Simon
" Mr. Robert Sachs, Vice President, Harper & Row

" Mr. David Campbell, Export Sales Manager, Gallimard

12月上旬 Mr. Christian Rivallan, Edition du Seuil
" Mr. David F. Kelley, Marketing Manager, International Dept., Houghton Mifflin

" Mr. Christopher Helm, Joint Managing Director, Croom Helm Ltd.

" Mr. E. Raghavan, Orient Longman Ltd.

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います。

三 洋 出 版 貿 易 株 式 会 社 ☎ 669 - 3761

OPTICAL PUBLISHING CO., INC.

Optical Industry & System Directory, 23rd edition (1977)

Buyers Guide & Product Tables volume

Encyclopedia & Dictionary volume

in 2 Vols.

set ¥17,500

Optical Spectra (月刊) 年間購読料 (船便) ¥14,700

丸 善 株 式 会 社 ☎ 272 - 7211

American Drug Index 1977. Ed. by N. F. Billups.
'77. 700 p. (Lippincott) Ready in Jan. in prep.

Coleman, D. J., F. L. Lizzi and R. L. Jack. — Ultrasonography of the Eye and Orbit. '77. 250 p.

(Lea & Febiger) Ready in Feb. in prep.

Fox, S. A. — Ophthalmic Plastic Surgery. 5th ed.
'76. 464 p. (Grune & Stratton) ca. ¥14,600

Kilgore, E. S. and W. P. Graham, III. (eds.) — The Hand: Surgical and Non-surgical Management.
'77. 600 p. (Lea & Febiger) Ready in May

ca. ¥14,800

会 員 の 横 顔

伸 興 通 商

長 戸 亮 介

「花の中年」と世では云うけれど、この世代の人は小学校から中学に移る頃、戦争の終末を味わい、成長期の一部を大豆や芋で過ぎねばならなかった人達である。そして学校を出る頃は、「有楽町で逢いましょう」とか「黄色いさくらんぼ」なんて歌が流行っていたところで、世の中あまりパッとせず、したがって就職にも選り好みなどは許されなかった時代である。

昭和10年、姫路生れの長戸さんが早稲田を出た頃が丁度それにあたっていた。仕方なく（と御当人は云う）入った先が北尾書店新社。そこで二年程理工系の本の取扱いを覚える。しかし、いったん取組んだ仕事から離れるのは、その数年の歴史をゼロに戻すことになる、あくまでも自分のキャリアは大切にしたい、と考えたところが、長戸さんの生真面目なところで、それが38年に伸興通商を創業する原動力となっているように思われる。創業に当たっても「会社にフィロソフィを持たせたかった。だから敢て当時は人のやらなかった視聴覚関係のソフトウェアの取扱いにふみ切った」という。本の形態は時代と共に変わってゆく。長戸さんの経験からも、一冊の本に頼っていた時代は今や過去のものとなりつつあり、それが雑誌に移行しているし、やがては視聴覚の時代になる、と新しい分野を開拓してきた人のみが持つ確固たる信念を彼は抱いている。

あまり固い話ばかりでもと思い「御趣味は？」と水に向けてみたが、仕事一筋に頑張ってきた、また頑張らざるを得なかった世代の一人として、「お酒だけですかね」と笑われる。「10年生れの悲哀というか、そんなひまがありませんでした」という言葉を伺っていると、「花の係長」も「花の社長」も同じことなのかな、と考えたりする。でも長戸さんの生真面目さが、これからの難しい時期を乗りきってゆくことは間違いないだろうし、それに伴って社業もその名の如く伸興するに違いない。（自宅：横浜市緑区花草台13-23）



「会報委」雪の金精峠をゆく

たとえ数頁の小さな紙面でも、月報とあればそれをまとめるためにはいやでも月一回は編集会議を開かねばならず、その時は宿題を抱えた中学生よろしく、原稿片手に馳せ参じなければならないのが、この委員会に属するメンバーの宿命で、又それだけに共同の仕事を通じてのそこはかなき友情も湧くというものである。その友情をさらに暖め、併せて次年度の構想を練ろうという趣旨で、毎年晩秋の頃に都心を離れて小旅行をするならわしになってから、もう8年になる。今年は行先を上州の老神（おいがみ）温泉ときめて、冷雨に煙る上野の駅を後にしたのが11月14日の昼過ぎであった。しかし、一条氏、相良氏をはじめとし、精進の良いことではJBIA会員の中でも指折りの人達が揃っている（のではないかと思われる）会報委のこと、赤城、榛名、妙義の三山が見えるころから雲もはれ、高崎に下車する頃は青空がひろがった。ここでレンタカー2台に分乗。ハンドルを握るのは恒例により平岩氏（アカデミア・ミュージック）と野村氏（三省堂）。毎年どうも御苦労なことで、とお礼を申しあげる他言葉がない。

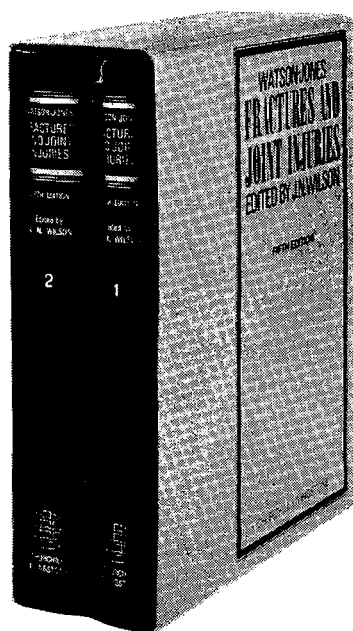
夕刻、老神温泉着。早速一部屋に集まって編集会議となる。原稿の集まりも先ず順調なので、こういう時の会議は極めてスムーズである。ただ時々考えさせられることは、こうして10人からのスタッフが多少なりとも力をつくして作り出している会報が、読んで下さる方にどんな受けとられかたをしているかということ。とにかく今までのところそういう反応がまことに少いので少々弱っている。お叱りでも注文でも何でも結構。特に各社の若い方達の遠慮のない意見を伺いたいものである。会報がえらい人達だけのものではなく、洋書にたずさわるすべての人達のものであると考えていただければ、討論も情報交換もこの場を通じても

っと活発になされる筈で、またそれは私ども会報の編集にたずさわるものの願いでもある。

一風呂浴びて、あまりサービス良からぬ女中さんの指令（？）で夕食。「上州女は気が強いや」と蔭口を叩きながら、少々お酒もまわったところで、毛沢東先生追悼（？）のマイナーリーグが始まり夜が更けてゆく。

あくる15日は曇り空から風花の舞う天気となる。寒さにふるえながら吹割の滝を見物し、再び車が北に向う頃は雪となった。予定では丸沼で鱒を肴に一杯やる筈だったが、これでは金精峠の道路状態が心配で先を急がねばならない。のぼるにつれて雪は道を覆い、ついに峠の途中でチェーンをつけなければならなくなった。大の男が10人いて、そのうちの6割が免許持ちなのだから、チェーンをつける位サッサッとゆくかと思いきや、都会のドライバーの悲しさ、経験がないものが殆どで、吹きさらしの雪の峠路で苦斗すること数十分、スキーが好きで雪道のドライブになれた平岩さんがいたおかげで、どうやらその危機も脱し、漸く粉雪をけたてての峠越えとなる。途中、チェーンなしで強行してきたが、遂に進むことの出来なくなった車や、坂道をズルズルとバックして来るマイクロバスに遭遇しながら、我々を乗せた二台のクラウンは雪煙をたてて快走、難なく峠を越して日光の湯元に入れば、間もなく空は晴れて、さっきまでの雪の峠路がまるで嘘であったよう。日光杉の延々と続く並木道を快適にドライブし夕刻には宇都宮から東京に向う列車の中の人となることが出来た。車窓に見る上州の山々、あそこにはまだ雪が降り積っているに違いない。いささか感慨をこめてそれを見る私達を待っているのは、選挙前の喧騒が渦巻く東京の街であった。

（K・S・記）



the Fifth Edition of WATSON-JONES FRACTURES AND JOINT INJURIES

Edited by J. N. WILSON

in two volumes, lavishly illustrated in colour and black & white and contained in a slip case !

The outstanding popularity of Fractures and Joint Injuries has been largely due to the firm guidance it gave about the management of practically every fracture and joint injury. This fundamental principle has been maintained in the new edition. As in previous editions, the emphasis has been placed on providing a comprehensive working textbook for use in the accident department or fracture ward.

This new edition had already been planned some years before Sir Reginald's death and much of the preliminary work had been done by Sir Reginald and others. However, it has become necessary to review every chapter again and to bring up to date much of the material. Although a large amount of Sir Reginald's writing has been retained and will be easily recognisable, several chapters have been completely rewritten and some new ones have been added. A number of outside authors have collaborated in writing sections on subjects in which they have a particular interest. Throughout the revision the conservative wisdom of Sir Reginald has been maintained and everywhere the emphasis has been laid upon the assistance of natural methods of healing, rather than the sacrifice of these to speed.

2 vols., 19×24cm. 1,372 pp., 1,823 figs.
5th ed. 1976 特価¥29,000 (定価¥34,200)

CHURCHILL LIVINGSTONE, Edinburgh / 日本総代理店 医学書院洋書部

CONTENTS of Vol. 1

1. Healing of Injury 2. Repair of Fractures 3. Repair of Ligament Injuries 4. Adhesions, Stiffness and Traumatic Ossification 5. Systemic Effects of Injury 6. Early Management of the Injured 7. Head Injuries 8. Injuries of the Chest and Abdomen 9. Vascular Injuries 10. Nerve Injuries 11. Clinical and Radiographic Diagnosis 12. Manipulative Reduction of Fractures 13. Operative Approaches 14. Operative Reduction of Fractures 15. Open and Infected Injuries of Bones and Joints 16. Transplantation of Bone 17. Fractures in Children

CONTENTS of Vol. 2

18. Injuries of the Shoulder 19. Injuries of the Arm 20. Injuries of the Elbow 21. Injuries of the Forearm 22. Injuries of the Wrist 23. Injuries of the Fingers and Hand 24. Injuries of the Spine 25. Injuries of the Pelvis 26. Injuries of the Hip 27. Injuries of the Thigh 28. Injuries of the Knee 29. Injuries of the Leg 30. Injuries of the Ankle 31. Injuries of the Foot 32. Facio-Maxillary Injuries 33. Pathological Fractures 34. Rehabilitation after Fractures and Joint Injuries.

医学書院洋書部 ①①③ 東京・文京・本郷 1-28-36 鳳明ビル 東京(03)814-5931~3 振替東京 1-53233

昭和52年 1 月 通巻第117号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋 1 丁目20番 3 号 藍沢ビル 302 号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329